

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスなならら			
○保護者評価実施期間	令和7年11月27日 ～ 令和7年 12月12日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年 12月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢別にグループを組み換え、歳児に合わせた支援内容を提供	職員間で月に一回活動内容を検討する会議を開催し、職員がみんなでこどもに合わせた活動を考える機会を持っている。 また、会議では互いに思いを尊重し「やってみよう！」と前向きに活動に取り組めるようにしています。	個々の子ども達の「見立て」や「手だて」を職員間で共通理解し、チームとして同じ方向性を持って支援できるように各職員が思いを正確に言語化できるようスキルアップを目指していきます。
2	保護者のニーズに合わせた柔軟な支援	ご家庭でのニーズに合わせた支援方法を事業所内で検討している。保護者のニーズ全てに応えるわけではなく「ここまでならできる」の線引きをしています。	また、事業所での役割、保護者の役割、地域の役割を見極め、互いに依存のないよう支援を行っていく必要があると考えます。そのために各関係機関との連携を密にしています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間交流や地域での交流	放課後等デイサービスとの多機能型事業所の為、時間の調整がむづかしい。	土曜日の開催を視野に検討していく必要があります。
2	事業内容についての保護者への周知	各種マニュアルを職員間での周知、訓練の実施にとどまっている。	HUGシステムを利用し周知が可能であると考えられるので、早急に周知していきたいです。
3			